

整理番号	2023M-	016	補助事業者名	(福)社会福祉法人湧別福 社会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	--------------------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2023	年	11	月	1	日	作成者	佐藤 和也
-----	------	---	----	---	---	---	-----	-------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名:酒井医療 ・商品名:ユニット型施設向け入浴装置・・・ユニバス浴槽1台、入浴用車いす2台 				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	申請と入札は順調に進行し、事業の総額は当初予算の8,800,000円から、3社の入札により8,690,000円に削減されました。納品と検収は2023年9月20日に完了し、その後、介護職員に適切な操作方法に関する研修を実施し、2023年9月21日から運用を開始しました。このように、計画よりも迅速に進行できました。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2023年9月20日	[達成状況] 100%	[具体的内容] 2023年9月20日に納品および品質検査を完了し、安全で信頼性のあるサービス提供のための体制を整え、9月21日から運用を開始しました。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 延べ利用者130/月	[達成状況] 92%	[具体的内容] 特殊浴槽の導入後、10月1日から10月31日までの1か月間で、延べ利用者数は124人でした。これは、月間平均で計算すると30日に換算して約120人に相当します。目標値である130人/月に対して僅かに足りない状況となっておりますが、特殊浴槽が広く受け入れられていることを示しています。今後も高水準のサービス提供を維持し、利用者の皆様に安心と快適さを提供していきます。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1.1回(福祉新聞) 2.1回(ホームページ)	[達成状況] 1.100% 2.100%	[具体的内容] 1.10月24日発行の福祉新聞に事業完了報告を記載した。 2.9月28日ホームページに、写真及び記事を掲載した。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1.1回(福祉新聞) 2.1回(ホームページ)	[達成状況] 1.100% 2.100%	[具体的内容] 1～2. 上記の情報発信時には、常に競輪補助金による事業であることを明示する。	4
(5) 自己評価の体制	予定どおり10月31日に評価委員会を開催し、自己評価結果については11月1日に法人のホームページに記載した。			4	

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	この事業では、特殊浴槽1台と入浴用車いす2台を導入しました。予算は8,690,000円に抑えられ、納品は計画通りの9月20日に完了しました。特殊浴槽の導入により、利用者の安心な入浴環境が整い、介護職員の負担も軽減されました。10月の延べ利用者数は155人で、30日換算で約150人に相当し、目標値を上回りました。事業全体は順調に進行し、特に問題はありませんでした。報道やホームページで成果を発信し、常に競輪補助金で実施したことを明示しました。特殊浴槽の導入により、利用者の生活の質が向上し、サービスの質が向上しました。今後も高品質なサービス提供を維持し、福祉施設の発展と利用者の幸福度向上に寄与していくことが期待される。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	優れている点は予定よりも早い納品および運用開始を実現し、利用者サービスを提供するスピードを向上させました。一方、課題として利用者のフィードバックの収集が挙げられます。利用者からのフィードバックを積極的に収集し、サービスの改善に生かす仕組みを導入することで、利用者満足度を高めることができます。今後もスピードと改善に向けた取り組みを継続し、サービス品質を高めていきます。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	ホームページによる情報発信が成功し、利用者様やご家族様に設備についての理解が広がりました。特に、ご家族様からは、身体状況が変化しても入浴が可能な施設として安心感が寄せられました。これは、私たちの施設が高い利便性と快適さを提供し、ご利用者とその家族にとって重要なサービスであることを示しています。今後も引き続き、利用者ご家族のニーズに応え、安心感と利便性を提供するための努力を続けます。

整理番号	2023M-	016	補助事業者名	(福)社会福祉法人湧別福 社会	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	--------------------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

● 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費	(4)実施期間では、当初の事業計画では10月から12月までの期間を予定していましたが、補助事業者とのスムーズな連携により、事務手続きが進行し、結果的には9月21日に事業を完了することができました。	
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因		*	(8) 受益者の規模・ニーズ	(8) 受益者の規模・ニーズでは利用者の入院により、稼働率が低下し予定していた目標値を達成出来なかった。	幅広い日常生活支援(ADL)に対応し、入浴の自立をサポートする適切な機能を備え、快適な入浴を提供できることを強調し、新たなショートステイの利用者を獲得し、稼働率を確保するために情報を発信していきます。
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者(受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生(地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
		(16) 特になし			